

それは、日本映画の最もカラフルな時代。

# THE COLORS of SHOWA

企画展

昭和を彩る女優たち  
松竹大船撮影所物語

2020.1.18 [土] → 3.27 [金]

企画展観覧料：一般 200(140)円 小・中学生 100(70)円 \* ( )内は20名以上の団体料金

# 企画展

# 昭和を彩る女優たち 松竹大船撮影所物語

時を超えて愛され続ける映画は、令和を迎えた現在も、私たちに新たな感動を与えてくれます。昭和11年に開設した松竹大船撮影所は、多くの名作を生み“女優王国”の名を全国に轟かせ、昭和から平成へと時代を歩みました。

本展は、「昭和」という時代とともに、松竹大船撮影所で活躍した女優たちの軌跡を辿る企画展です。時代の記憶とスクリーンに輝き続ける永遠の魅力をぜひお楽しみ下さい。



『君の名は』昭和28年公開時ポスター★

\*国立映画アーカイブ所蔵



『二十四の瞳』昭和29年公開時ポスター



『カルメン』故郷に帰る  
昭和26年公開時ポスター★



『雪国』昭和40年公開時ポスター★



『愛染かつら』昭和13年-14年公開  
新編総集版ポスター★

## 松竹キネマ100周年記念アフタートーク

大正9年(1920年)に松竹キネマが発足してから、令和2年(2020年)で100周年を迎えます。これを記念して、松竹映画を代表する名作の上映とアフタートークを開催します。

**3.8(日) 13:30~** 『秋刀魚の味』上映+アフタートーク  
松竹映画の名作を世界へ~国際映画祭の舞台から~

ゲスト:小松士恩さん(松竹株式会社メディア事業部海外版權室)

**3.17(火) 13:30~** 『男はつらいよ』上映+アフタートーク  
デジタル修復で未来へ~名作の新たな魅力とともに~

ゲスト:五十嵐真さん(株式会社松竹映像センター取締役 技術本部長)

## ① 帰郷

1.21(火)・23(木)・26(日) 10:00  
1.25(土) 14:00



毎日新聞に連載された同名小説を映画化。かつて祖国を捨てた男が、戦後の日本に帰郷し、その変貌ぶりを目にする。女優陣の魅力や円寛寺、苔寺(西芳寺)の場面の美しさが記憶に残る名作。

1950年/白黒/35mm/104分  
監督:大庭秀雄 原作:大佛次郎 脚本:池田忠雄  
撮影:生方敏夫 音楽:吉澤博 美術:浜田辰雄  
出演:佐分利信、木暮実千代、津島恵子、徳大寺伸、山村聰、柳永二郎、三宅邦子

## ⑤ 秋津温泉

2.18(火)・21(金) 10:30  
2.19(水)・23(日・祝) 14:00



終戦の年の夏、中国地方の山奥の温泉宿で出会った学生・周作と旅館の娘・新子。別れと再会を繰り返す二人の17年にわたる歳月を、美しい四季のなかに描いたメロドラマの傑作。岡田茉莉子自らが企画した映画出演100本記念作。

1962年/カラー/35mm/112分  
監督:脚本:吉田喜重 原作:藤原審爾  
撮影:成島東一郎 音楽:林光 美術:浜田辰雄  
出演:岡田茉莉子、長門裕之、山村聰、宇野重吉、東野英治郎、小夜福子、日高澄子、芳村真理

## ⑨ 秋刀魚の味

3.3(火)・6(金) 10:30 3.4(水)・6(金) 14:00  
8(日) 13:30 +アフタートーク



岩下志麻、笠智衆、佐田啓二、岡田茉莉子といった松竹大船を代表する俳優陣が出演。戦争の深い影を落とすつつ、ユーモアを交え、家族の中に老いと孤独を描いた本作は、翌年60歳の誕生日に逝去した小津監督の遺作となった。

1962年/カラー/DCP/113分  
監督:小津安二郎 脚本:野田高梧、小津安二郎  
撮影:厚田雄春 音楽:斎藤高順 美術:浜田辰雄  
出演:岩下志麻、笠智衆、佐田啓二、岡田茉莉子、三上真一郎、吉田輝雄、岸田今日子

## ② 君の名は(総集編)

1.21(火)・22(水)・23(木)・24(金)  
26(日) 各回 13:00 \*途中休憩あり



連続ラジオドラマを全3部作で映画化。東京大空襲の夜に出会った男女が、数寄屋橋の上で再会を誓う。岸恵子演じるヒロインの“真知子巻き”など、当時、社会現象を巻き起こした国民的映画の金字塔。

1953-54年/白黒/35mm/235分  
監督:大庭秀雄 原作:菊田一夫 脚本:柳井隆雄  
撮影:斎藤毅 音楽:古閑裕和  
美術:熊谷正雄、浜田辰雄  
出演:佐田啓二、岸恵子、月丘夢路、淡島千景、北原三枝、川喜多雄二、笠智衆

## ⑥ 雪国

2.18(火)・21(金) 14:00  
2.20(木)・23(日・祝) 10:30



岩下志麻演じる駒子の可憐さと情熱を併せ持った魅力が際立つ。岩下自ら出演を希望し、本作の映画化が夢だった大庭秀雄監督が手がけた。原作の越後湯沢ではなく古き良き温泉街の面影が残る野沢温泉で撮影された。

1965年/カラー/35mm/113分  
監督:大庭秀雄  
原作:川端康成 脚本:斎藤良輔、大庭秀雄  
撮影:成島東一郎 音楽:山本直純 美術:芳野伊幸  
出演:岩下志麻、木村功、加賀まりこ、沢村貞子、早川保、柳澤真一、清川虹子、浪花千栄子

## ⑩ 幸福の黄色いハンカチ

3.17(火) 10:30  
3.18(水)・20(金・祝)・22(日) 14:00



東映を代表するスター・高倉健がフリーとなった翌年に、倍賞千恵子と、北海道を舞台に初共演したロードムービー。第1回日本アカデミー賞をはじめ、当時の国内における映画賞を総なめにした名作。

1977年/カラー/DCP/108分  
監督:山田洋次  
原作:ビート・ハミル 脚本:山田洋次、朝間義隆  
撮影:高羽哲夫 音楽:佐藤勝 美術:出川三男  
出演:高倉健、倍賞千恵子、武田鉄矢、桃井かおり、太宰久雄、瀧美清、たこ八郎

### ③ カルメン故郷に帰る

2.4(火) 10:30  
2.5(水)・7(金)・9(日) 14:00



木下恵介と高峰秀子の初コンビ作となった、日本初の総天然色(カラー)映画。浅間山の麓を舞台に、リリィ・カルメンの自由奔放な姿が、戦後日本社会の風刺ともなったオペレッタ調喜劇の傑作。

1951年/カラー/DCP/86分  
監督:木下恵介 撮影:楠田浩之  
音楽:木下忠司、篠敏郎 美術:小島基司  
出演:高峰秀子、小林トシ子、井川邦子、佐野周二、佐田啓二、笠智衆、坂本武、三井弘次

### ④ 二十四の瞳

2.4(火)・6(木)・8(土) 14:00  
2.5(水)・7(金)・9(日) 10:30



瀬戸内海に浮かぶ小豆島を舞台に、高峰秀子演じる大石先生と12人の生徒たちとの18年間におよぶ交流を、戦争の悲劇と四季折々の美しい風景とともに描いた国民的名作。キネマ旬報ベスト・テン第1位。

1954年/白黒/DCP/156分  
監督:木下恵介 原作:壺井栄 撮影:楠田浩之  
音楽:木下忠司 美術:中村公彦  
出演:高峰秀子、月丘夢路、小林トシ子、井川邦子、田村高広、笠智衆、夏川静江、浦辺粂子

### ⑦ 横堀川

2.19(水) 10:30 2.20(木) 14:00  
2.22(土) 13:30 **特別上映**



原作を元に茂木草介が劇化したテレビドラマを映画化。船場の商家で育った多加は、逆境にも負けず、夫婦で寄席を始め繁盛させていく。倍賞千恵子演じるヒロインの魅力や小沢昭一、浪花千栄子との共演も見どころ。

1966年/カラー/35mm/100分  
監督:大庭秀雄  
原作:山崎豊子 脚本:柳井隆雄、大庭秀雄  
撮影:厚田雄春 音楽:林光 美術:芳野伊孝  
出演:倍賞千恵子、中村扇雀、山口崇、小沢昭一、田村高廣、香山美子、浪花千栄子

### ⑧ 彼岸花

3.3(火)・5(木)・7(土) 14:00  
3.4(水)・8(日) 10:30



大映のスター、山本富士子を迎え、佐分利信演じる父親と有馬稲子演じる娘との結婚を巡る確執をユーモラスに描いた小津監督の初のカラー作品。小津監督生誕110年・没後50年を期して公開されたデジタル修復版にて上映。

1958年/カラー/DCP/118分  
監督:小津安二郎  
原作:里見淳 脚本:野田高梧、小津安二郎  
撮影:厚田雄春 音楽:斎藤高順 美術:浜田辰雄  
出演:佐分利信、田中絹代、有馬稲子、久我美子、佐田啓二、高橋貞二、桑野ゆいさ、笠智衆、山本富士子

### ⑪ 男はつらいよ

3.17(火) 13:30 **アフタートーク**  
3.19(木)・21(土) 14:00 3.22(日) 10:30



故郷柴又に20年ぶりに帰ってきた寅さんは妹・さくらの縁談をぶちこわし、大ゲンカの後、旅に出る。旅先の奈良で幼馴染の冬子と再会し…。50周年にあたる2019年に50作目が公開された「男はつらいよ」の第1作。

1969年/カラー/DCP/91分  
原作:監督:山田洋次 脚本:山田洋次、森崎東  
撮影:高羽哲夫 音楽:山本直純 美術:梅田千代夫  
出演:渥美清、倍賞千恵子、光本幸子、笠智衆、志村喬、森川信、前田吟、三崎千恵子

### ⑫ 砂の器

3.24(火)・27(金) 10:00  
3.24(火)・27(金) 13:30 **特別上映**  
3.25(水)・26(木) 14:00



監督・野村芳太郎と撮影監督・川又昂のコンビによる日本映画史を代表する名作。捜査会議から始まるクライマックスの父と子の“宿命”の旅は、見るものを圧倒し、松本清張に「これこそ映画でなければできない」と言わしめた。

1974年/カラー/DCP/143分  
監督:野村芳太郎 原作:松本清張 脚本:橋本忍、山田洋次  
撮影:川又昂 音楽監督:芥川也寸志 美術:森田郷平  
出演:丹波哲郎、加藤剛、森田健作、島田陽子、山口果林、加藤嘉、春日和秀、笠智衆

## 特別上映

2.22(土) 『横堀川』上映+トークイベント  
13:30~ 撮影監督・厚田雄春を語る

ゲスト:菅野公子さん(厚田雄春氏・三女)、兼松照太郎さん(撮影監督)  
小津安二郎監督作品の撮影監督として、数々の名作を手がけた厚田雄春氏。その仕事は、松竹撮影所の歴史でもあります。小津作品で意図したハイキーの画調に対して、ローキーも得意とした厚田氏の仕事を撮影助手であった兼松照太郎さんに、お人柄を厚田氏の三女である菅野公子さんにお話しいたできます。

『砂の器』上映+トークイベント  
撮影監督・川又昂 追悼上映

3.24(火) 13:30~ 撮影監督川又昂の仕事

ゲスト:羽方義昌さん(撮影監督)  
川又武久さん(『カメラを振り回した男 撮影監督・川又昂の仕事』著者)

3.27(金) 13:30~ 監督野村芳太郎と撮影監督川又昂

ゲスト:野村芳樹さん(プロデューサー)、樋口尚文さん(映画監督、映画評論家)

2019年10月5日、日本を代表する撮影監督である川又昂氏が逝去されました。小津安二郎監督作品の撮影助手を経て、野村芳太郎監督作品、大島渚監督作品など多くの名作を残され、晩年は、名作を後世に伝えるため、デジタル修復の作業にもご尽力されました。川又氏の業績を偲び、代表作『砂の器』の上映と関係者によるトークイベントを開催します。



## 松竹大船撮影所 ゆかりの地散策ツアー

3.18(水) 13:30~15:30(終了予定)  
ゲスト:中橋嘉久さん(撮影監督)



松竹大船撮影所(1936-2000) 絵:宮崎祐治

松竹大船撮影所で数々の作品に従事された撮影監督の中橋嘉久さんに、大船の街とかつての撮影所ゆかりの地を、散策しながら解説していただきます。  
参加費:500円 定員:15名(先着順)  
申込方法:2.15(土)より鎌倉市川喜多映画記念館(0467-23-2500)まで電話にてお名前、連絡先をお伝えください。\*大船駅周辺からの散策コースとなります。

企画展 一般 200(140)円 小・中学生 100(70)円

\*( )内は20名以上の団体料金 \*映画鑑賞料金は別途

映画鑑賞 一般 1,000円 小・中学生 500円

特別上映 一般 1,500円 小・中学生 750円

\*チケット提示で企画展もご覧いただけます。\*チケット完売の場合はご入場いただけません。  
\*座席数は51席となります。

チケット発売  
開始日  
1月の上映作品①~② 1月4日(土)  
2月の上映作品③~⑦ 1月18日(土)  
3月の上映作品⑧~⑫ 2月15日(土)

チケット取り扱い  
お問い合わせ先  
川喜多映画記念館窓口 0467-23-2500  
たらば書房(鎌倉駅西口) 0467-22-2492  
島森書店(鎌倉駅東口) 0467-22-0266

\*作品により映像・音声必ずしも良好ではないものがあります。  
場合によっては上映素材・作品の変更がありますことをご了承ください。

# 上映スケジュール

1月	<b>関連上映</b> <b>昭和を彩る女優たち</b> チケット発売日:1月4日(土)	21 火	10:00 帰郷(104分)	13:00 君の名は(総集編)(235分)	
		22 水		13:00 君の名は(総集編)(235分)	
		23 木	10:00 帰郷(104分)	13:00 君の名は(総集編)(235分)	
		24 金		13:00 君の名は(総集編)(235分)	
		25 土		14:00 帰郷(104分) <b>映画談話室</b>	
		26 日	10:00 帰郷(104分)	13:00 君の名は(総集編)(235分)	
2月	<b>関連上映</b> <b>昭和を彩る女優たち</b> チケット発売日:1月18日(土)	4 火	10:30 カルメン故郷に帰る(86分)	14:00 二十四の瞳(156分)	
		5 水	10:30 二十四の瞳(156分)	14:00 カルメン故郷に帰る(86分)	
		6 木		14:00 二十四の瞳(156分)	
		7 金	10:30 二十四の瞳(156分)	14:00 カルメン故郷に帰る(86分)	
		8 土		14:00 二十四の瞳(156分)	
		9 日	10:30 二十四の瞳(156分)	14:00 カルメン故郷に帰る(86分) <b>映画談話室</b>	
		<b>シネマセレクション</b> <b>アンコール上映</b> チケット発売日:1月18日(土)	11 火・祝	10:30 悲情城市(159分)	14:00 宋家の三姉妹(145分)
			12 水	10:30 宋家の三姉妹(145分)	14:00 悲情城市(159分)
			13 木		14:00 宋家の三姉妹(145分)
	14 金		10:30 宋家の三姉妹(145分)	14:00 悲情城市(159分)	
	15 土			14:00 宋家の三姉妹(145分)	
	16 日		10:30 宋家の三姉妹(145分)	14:00 悲情城市(159分)	
	<b>関連上映</b> <b>昭和を彩る女優たち</b> チケット発売日:1月18日(土)		18 火	10:30 秋津温泉(112分)	14:00 雪国(113分)
			19 水	10:30 横堀川(100分)	14:00 秋津温泉(112分)
			20 木	10:30 雪国(113分)	14:00 横堀川(100分)
		21 金	10:30 秋津温泉(112分)	14:00 雪国(113分)	
		22 土		13:30 <b>特別上映</b> 横堀川(100分)+トークイベント	
		23 日・祝	10:30 雪国(113分)	14:00 秋津温泉(112分)	
<b>関連上映</b> <b>昭和を彩る女優たち</b> チケット発売日:2月15日(土)		3 火	10:30 秋刀魚の味(113分)	14:00 彼岸花(118分) <b>映画談話室</b>	
		4 水	10:30 彼岸花(118分)	14:00 秋刀魚の味(113分)	
		5 木		14:00 彼岸花(118分)	
	6 金	10:30 秋刀魚の味(113分)	14:00 秋刀魚の味(113分)		
	7 土		14:00 彼岸花(118分)		
	8 日	10:30 彼岸花(118分)	13:30 秋刀魚の味(113分)+アフタートーク		
	<b>次世代シネマセレクション</b> チケット発売日:2月15日(土)	14 土	10:30 僕はイエス様が嫌い(76分)	14:00 僕はイエス様が嫌い(76分)+アフタートーク	
		15 日		14:00 僕はイエス様が嫌い(76分)	
3月	<b>関連上映</b> <b>昭和を彩る女優たち</b> チケット発売日:2月15日(土)	17 火	10:30 幸福の黄色いハンカチ(108分)	13:30 男はつらいよ(91分)+アフタートーク	
		18 水		14:00 幸福の黄色いハンカチ(108分)	
		19 木		14:00 男はつらいよ(91分)	
		20 金・祝		14:00 幸福の黄色いハンカチ(108分)	
		21 土		14:00 男はつらいよ(91分)	
		22 日	10:30 男はつらいよ(91分)	14:00 幸福の黄色いハンカチ(108分)	
<b>撮影監督・川又昂 追悼上映</b> チケット発売日:2月15日(土)	24 火	10:00 砂の器(143分)	13:30 <b>特別上映</b> 砂の器(143分)+トークイベント		
	25 水		14:00 砂の器(143分)		
	26 木		14:00 砂の器(143分)		
	27 金	10:00 砂の器(143分)	13:30 <b>特別上映</b> 砂の器(143分)+トークイベント		

**ギャラリートーク&旧和辻邸見学ツアー**  
 展示室と旧川喜多邸別邸(旧和辻邸)を解説付きでご案内します。  
 ※雨天の場合は旧和辻邸の見学が中止となる場合があります。  
 1.31(金)/2.1(土)/2.14(金)/2.15(土)/2.28(金)/2.29(土)  
 3.13(金)/3.14(土) 各日13:00~(約30分/要展示観覧料)

**映画談話室** 当館スタッフが進行役となり、上映作品の解説も盛り込みながら、映画について皆様と語り合う時間です。(約30分)  
 ゲストの方にご登壇いただくこともあります。出入り自由ですので、ぜひお気軽にご参加ください。(要展示観覧料、定員51席)



**鎌倉市川喜多映画記念館**  
 〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12  
**☎0467-23-2500**  
 開館時間:9:00-17:00(入場は16:30まで)  
 休館日:月曜日(祝日は開館)/2月25日(火)  
 ●鎌倉駅より徒歩8分  
 ●駐車設備がありませんので、公共交通機関をご利用ください。  
 主催:川喜多-KBSグループ(鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者)  
 協力:松竹株式会社、(公財)松竹大谷図書館、国立映画アーカイブ  
 鎌倉市中央図書館近代史資料室、鎌倉文学館  
<http://www.kamakura-kawakita.org>